

エンジンルーム吸音材用ポリウレタンシステム

開発の狙い

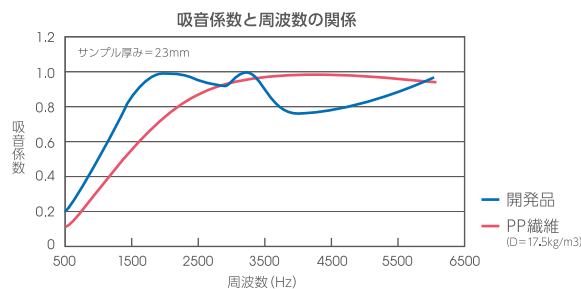
- 項目** ポリウレタン材料
- 効果** エンジンノイズの低減による車内、車外の静粛性向上
- 着眼点** 材料設計による難燃性 (UL-94 V0 相当) の発現 セル構造制御による吸音特性付与
- 開発進度** 1. アイデア段階 (年 月完了) 2. 試作・実験段階 (16 年 12 月完了) 3. 開発完了段階 4. 製品化完了

製品の概要 構造・原理・特徴

低密度フォーム材

競合材料	密度 (kg/m ³)	燃焼性*
PP繊維	17-18	MVSS-302

*社内測定による判定

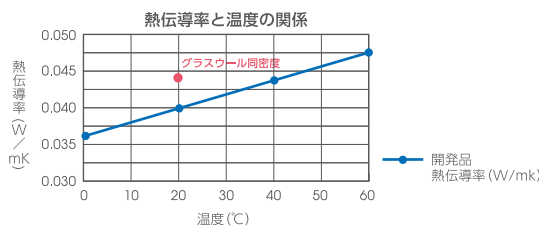


* 垂直入射式吸音率測定 ISO 10534-2

競合材料	密度 (kg/m ³)	燃焼性*
低密度フォーム材	17-18	UL-94 V0

*社内測定による判定

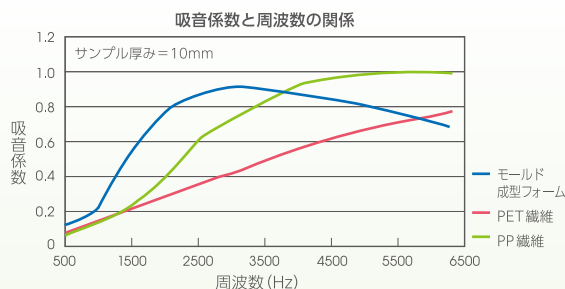
- 0.5-2.5 kHz 域 *) の吸音性能に優れる
- 保温性 (断熱性能) も良好



モールド成型フォーム材

競合材料	密度 (kg/m ³)	燃焼性*	形状自由度
PET繊維	20-22	UL-94 HBF	△
PP繊維	17-18	MVSS-302	△

*社内測定による判定

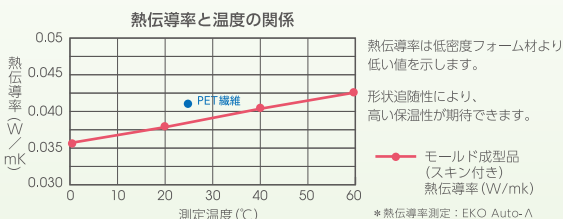
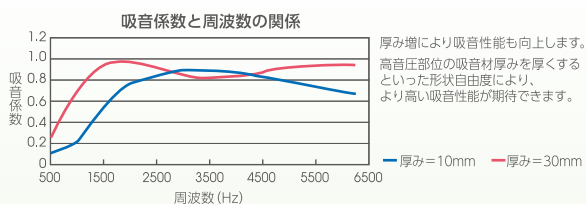


* 垂直入射式吸音率測定 ISO 10534-2

競合材料	密度 (kg/m ³)	燃焼性*	形状自由度
モールド成型フォーム材	80-160	UL-94 V0	○

*社内測定による判定

- 0.5-3.5 kHz 域 *) の吸音性能に優れる
- 部品形状に合わせて成型できるため、優れた吸音性、保温性を示す



*熱伝導率測定: EKO Auto-A

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

課題と対応策

活 用 案

- 低密度材: フードサイレンサー等
- モールド成型材: エンジンカバー等